項目		特記事項
衛生器具設備	1. 注意板	和風大便器、洋風便器、小便器には、陶製の注意板を取付ける。
	2. 小便器用節水装置	図面に特記なき場合は、洗浄水量が４Ｌ／回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ※個別感知方式　（電源供給方式　※　ＡＣ電源　・　乾電池　・自己発電　） 工事範囲は、電気１次側配管配線を除き全て本工事とする。
	3. 自動水栓	電源供給方式　※　ＡＣ電源　・　乾電池　・　自己発電
	4. 和風大便器の耐火処理	標準図（施工67（ｂ））による。
	5. 大便器洗浄弁	洋風便器の洗浄水量は、Ⅱ形（６.５Ｌ／回以下）とする。
	6. 温水洗浄便座	洗浄用水加温方式（　※貯湯式　・瞬間方式　） リモコン電源種別　※　ＡＣ電源　・　乾電池　・　自己発電　（操作方式　※　センサー式　・　タッチスイッチ式） 付加機能　（　・　温風乾燥機能　・　擬音装置　（　・　女子便所　・　男子便所　）　）
給水設備	1. 量水器	イ）親メーター　※借用　・　買取り　（　・　直読　・　遠隔表示） ロ）子メーター　※買取り　・　借用　（　・　直読　・　遠隔表示）
	2. 量水器桝	イ）　親メーター用　・　水道事業者の指定品　・　標準図（機材５７） ロ）　子メーター用　※　標準図（機材５７）　・　水道業者の指定品
	3. 配管材料	イ）一般配管用　・　塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ）（ＳＧＰ－ＦＶＡ）　・　ナイロンコーティング鋼管 ・　塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＢ）（ＳＧＰ－ＦＶＢ） ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・　ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＡ）（ＳＧＰ－ＦＰＡ）　・　銅管　・　被覆銅管　・　保温付被覆銅管 ・　架橋ポリエチレン管　・　水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ロ）土間用配管用　・　塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ） ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・　ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ）（ＳＧＰ－ＦＰＤ） ・　水道用ポリエチレン二層管（５０Ａ以下） ・　水道配水用ポリエチレン管（ＪＷＷＡ　ｋ１４４）（７５Ａ以上） ハ）屋外土中用　・　塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ） ・　水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・　ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＡ）（ＳＧＰ－ＦＰＡ） ・　水道用ポリエチレン二層管（５０Ａ以下）　・　鋳鉄管 ニ）ビニル管の接合方法　※接着接合　・　ゴム輪接合 ホ）ポリエチレン管の接合方法　５０Ａ以下　※　金属製継手　・　融着継手　７５Ａ以上　融着継手 ヘ）ゴム輪接合の場合、直管以外の継ぎ手部には離脱防止金具取付とする。 ト）特記なき給水管の最小口径は２０Ａとする。 チ）ステンレス鋼管を使用する場合は次の（　）内の水質の確認を行う。　（電気伝導率、Ｍアルカリ度、カルシュウムイオン、マグネシュウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物）
	4. 弁類	イ）公営水道に直結する配管に使用するものは、ＪＩＳ又はＪＶ１０ｋとする。 ロ）受水タンク以降の配管に使用するものは、ＪＩＳ又はＪＶ５ｋとする。ただし、特記部分はＪＩＳ又はＪＶ１０ｋとする。 ハ）給水引込部の　・　止水栓　・　弁桝　は水道事業者の指定品とする。
	5. 定水位調整弁	・　標準仕様書による（付属品含む）　・水道事業者指定品
	6. 水栓柱	※合成樹脂製　・　人造石とぎ出し製　・　アルミニウム合金製　・　ＳＵＳ製
	7. 水栓	イ）屋外の水栓は　・　キー式ハンドル　・　一般ハンドル ロ）台所流し用の水栓は　・　泡沫式　・　一般式 ハ）一般ハンドル（水用）の水栓は　※　節水こま組み込み　・　一般こま　仕様とする。
	8. 屋外タンクのマンホール	ＦＲＰ製タンク及びステンレス製タンク（保温形）はマンホールも保温形（二重蓋含む）とする。
	9. 保温	鋼板製、ステンレス製タンクの保温　・　施工する　・　施工しない
	10. ステンレス製タンク	材質（ 液相部　※ SUS444　・ SUS316　・ SUS304　気相部　※ SUS329J4L　）
	11. 緊急遮断弁装置	・　適用する（駆動方式　・　電気式　・　機械式）　・　適用しない
排水設備	1. 配管材料	イ）屋内汚水管　・　コーティング鋼管（　※　ノンタールエポキシ　・　塩化ビニル）　・　鉛管 ・　排水用塩ビライニング鋼管　・　硬質ポリ塩化ビニル管（・ＶＰ　・ＶＵ） ・　耐火二層管（・ＶＰ　・ＲＦ－ＶＰ）　・　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） ロ）屋内雑排水管　・　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　鉛管 ・　排水用塩ビライニング鋼管　・　硬質ポリ塩化ビニル管（・ＶＰ　・ＶＵ） ・　耐火二層管（・ＶＰ　・ＲＦ－ＶＰ）　・　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・　湯沸流し等の床上露出部分は硬質塩化ビニル管（ＶＰ）でもよい。 ハ）通気管　※　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・　耐火二層管（・ＶＰ　・ＲＦ－ＶＰ） ・　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）（屋内用のみ）　・　コーティング鋼管

項目		特記事項
		ニ）屋外排水管　・　硬質ポリ塩化ビニル管（・ＶＰ　・ＶＵ）　・　コンクリー耐衝性硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＴＶＰ） ・　排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ）
	2. 煙試験	※　行わなくてもよい　・　図示の系統のみ行う
	3. グリース租集器	・　工場製作品　（・ＳＵＳ製　・鋳鉄製　・ＦＲＰ製）　・　現場施工品 ・　耐火被覆　（　・施工する（標準図施工６６（ａ））　・　施工しない　）
給湯設備	1. 配管材料	※　ステンレス鋼管　・　保温付被覆銅管　・　銅管　・　耐熱性ライニング鋼管 ・　架橋ポリエチレン管　・　ポリブデン管
	2. 弁類	※ＪＩＳ又はＪＶ　５Ｋとする。ただし、水道直結部分及び特記部分はＪＩＳ又はＪＶ　１０Ｋとする。
	3. 湯沸器	・　屋内設置のガス瞬間湯沸器には換気ファン連動装置を設けるものとし、別途電気工事との接続は本体に付属する水圧スイッチで行うものとする。 ※　ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより排風機を運転すること」と記載した注意板を設ける。
消火設備	1. 消火栓弁の耐圧	※　ＪＩＳ１０ｋ　・　ＪＩＳ１６ｋ
	2. 配管材料	イ）一般配管用　※　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・ＳＴＰＧ ロ）土中配管用（土間を含む）　※　硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（ＶＳ）
	3. 保温	イ）呼水タンクの保温　※　施工しない　・　施工する ロ）充水タンクの保温　※　施工しない　・　施工する ハ）消火配管の保温は次による。（　屋外露出寒冷地は保温種別ｅ２・ハ・Ⅶによる。） ・　屋内消火栓　※　施工しない　・　施工する ・　スプリンクラー　※　施工しない　・　施工する ・　連結送水　※　施工しない　・　施工する ・　連結散水　※　施工しない　・　施工する
	4. 屋外消火栓箱・ホース格納箱	※　鋼板製　・　ステンレス鋼板製
	5. 不活性ガス系消火剤の種類	・　ＩＧ－１００（窒素）　・　ＩＧ－５５（アルゴナイト）　・　ＩＧ－５４１（ＩＮＥＲＧＥＮガス） ・　ＦＫ－５－１－１２（ハロゲン化物）
	6. 不活性ガス消火の起動方式	※　手動　・　自動、手動切替式
ガス設備	①配管材料	イ）一般配管用　※配管用炭素鋼鋼管（白管） ロ）土中配管用（土間も含む）　※合成樹脂被覆鋼管　・ガス用ポリエチレン管（ＪＩＳ－Ｋ６７７４）
	2. 液化石油ガス容器	・　１０kg　・　２０kg　・　５０kg　＿本　※　借用　・　買取り
	3. バルク貯蔵	・　縦型　・　横型　最大充てん量　＿kg　・　借用　※　買取
	4. ガスメーター	親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。　・撤去メーターはガス供給事業者に返却
	5. 容器廻りの配管	※　自動切替式　施工方法は標準図（施工７２　・　（ａ）２本立て　・　（ｂ）４本立て　・（ｃ）６本立て以上　）とする。
	6. 容器転倒防止	施工方法は標準図（施工７３　・　（ａ）壁に支持できる場合　・　（ｂ）壁に支持できない場合　）とする。
	7. ガス漏れ警報器	※　不要　・　要（取付け位置は図示による。外部出力端子　・　不要　・　要　） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・　別途電気工事
	8. その他	都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。
浄化槽設備	1. 処理種別及び方式	・　小規模合併処理　（　・　分離接触ばっ気方式　・　嫌気ろ床接触ばっ気方式 ・　脱窒ろ床接触ばっ気方式　・　担体流動方式　・　　） ・　合併処理　（　・　回転板接触方式　・　接触ばっ気方式　・　長時間ばっ気方式　）
	2. 形式	※　ユニット形　・　現場施工形
	3. 処理能力	処理対象人員　＿人　・　処理水量　＿m^3／d　・　流入ＢＯＤ濃度　＿mg／L
	4. 放流水の水質	ＢＯＤ　・　６０　・　３０　・　２０　・　１０　・　＿mg／L 以下
その他		

一級建築士　第344115号　高橋泰尚

令和6年度	工事番号・工事名	小松高第1号　愛媛県立小松高等学校第一教棟外内部改修工事	名称	機械設備工事特記仕様書（４）【衛生】	－	M-04	愛媛県立小松高等学校